

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第28回)

「サブスク」の季節がやってきた

2020.06.10

カタカナが多くて、何回聞いても分からないIT用語。そんなIT初心者の社長にも理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は、どこかで聞いたことがあるかもしれない「サブスクリプション」。略して「サブスク」だ。

「社長、総務で使っているパソコンが古くなったので、サブスクで借り換えてもいいですか」(総務兼IT担当者)

「サブ？ワシの同級生のサブちゃんがどうかしたのか」(社長)

「違います。誰ですかサブちゃんって。サブスクはサブちゃんとは関係ありませんよ。定額制で商品やサービスを利用する仕組みをサブスクっていうんです」

「君がサブ、サブって繰り返すから、何だかサブちゃんに会いたくなかった。出掛けてくるからワシが帰ってくるまでに、もっと分かりやすい説明を考えておきたまえ」

購入から利用へ。定額で借りるという選択肢

サブスクリプション(サブスク)を日本語で言い表すと、「定期購読」や「予約購読」となります。例えば、音楽CDや映画DVDを購入するのではなく、月額定額制で音楽が聴き放題になったり、映画が見放題になったりするネットサービスがあります。これらはサブスクの一例です。ビジネスにおいても、月額や年額の定額料金を支払えば、最新のソフトウェアやパソコンを利用できるサブスクの利用が広がっています。

ソフトウェアを購入した場合と、サブスクを利用した場合の比較

	購入	サブスク
初期費用	全額支払う	かからない
運用費用	かからない	月額定額 年額定額など
最新性	買い直し 自分でアップデート	ソフトウェアは 自動で最新に

※比較は一例。多様な提供方法があるので上記に当てはまらないケースもある

Q サブスクのメリットを教えてください… 続きを読む